



安岡 明雄  
(市民の声)

### 地震・津波への備えを万全にすべき

**質** 大津波対応のため、標高の情報提供は。米代川を逆流時の堤防の安全性はどうか。要援護者への対応のためにも避難訓練が必要ではないか。避難所での介護対応は確保されるか。

**答** 避難所や標高がわかるように津波ハザードマップ等で情報提供する。日本海中部地震の際の堤防被害は、液状化に伴う堤体地盤の強度低下によるもので復旧済み。要援護者の避難訓練はこれまで以上に重点を置いて取り組みたい。介護は福祉施設等への入所等で対応するが、災害に応じて受け入れ先の確保に努めたい。

### 市のがん対策推進条例の制定

**質** 県は、がん対策推進条例が施行されたのを契機に、検診率向上に向け秋田県がん検診推進協議会を設立した。県と連携するため市も条例制定し、対策推進の姿勢を明確にすべきでは。

**答** 条例の制定は市の姿勢を明確にし、市民と連携・協調しながら対策の推進を図る一つの手法と考えられるが、各種計画や他の重点施策との整合性も考慮する必要がある。市民のがんに対する意識を把握するとともに、先進地の条例制定による効果や課題等も参考に、制定の必要性について研究したいと考えている。

#### その他の質問事項

- 厳しい財政状況と庁舎整備
- 市の負担を庁舎建設基金内にするか
- ニツ井町庁舎で議会招集の説明責任



菊地 時子  
(日本共産党)

### 津波ハザードマップの作成

**質** 住民は地域防災について独自に考え始めている。災害に強いまちづくりは地域住民のきずなを作り上げるのが大きな力になる。津波ハザードマップの作成をどう進めるか。

**答** 市民の安全・安心のため、津波に対する警戒意識や避難意識を啓発し、避難場所等を周知するため日本海中部地震における津波襲来地域図や県の地震被害想定調査報告書、国の機関が調査した結果等、現在入手できる調査結果をもとに標高も記した津波ハザードマップを年内に作成し、全戸配布したいと考えている。

### 避難先の確保、避難所としての役割は

**質** 想定される避難場所と避難経路の安全性、避難所の耐震改修はどうか。また、避難所としての役割が担えるようになっていくか。

**答** 津波を想定した能代港周辺地域の避難先は能代公園とし、落合地区の一時避難先として山本組合総合病院、しらかみ看護学院を確保している。安全確保のため避難経路の指定はせず各自が状況に応じて判断することとしている。学校の耐震補強は終了しており、備蓄物資は必要に応じて各避難所に搬入することとしている。

#### その他の質問事項

- 原発ゼロに向けて市長の考えは
- 生活保護支援プログラム



伊藤 洋文  
(よねしろ会)

### 震災の瓦れきを能代港に受け入れるのか

**質** 震災の瓦れきを能代港にと県に要望しているようだが、どのような対応が必要か。また、分別や処理をどのようにお考えか。さらに関係条例の制定や県との協議にどう臨むのか。

**答** 災害廃棄物は一般廃棄物の取り扱いで、搬出先との協議、処理場所の確保や業者選定が必要になる。分別等は受け入れが具体化する段階で検討しなければならぬと考えている。また災害廃棄物は関係法令に基づき処理され、新たな条例制定は必要ない。県には東北一円で処理できる体制づくりについて提案した。

### 風の松原整備計画

**質** この事業を推進させていくには国の理解と参加が不可欠ではないか。またエリアゾーンの設定、下草や雑木の管理はどうしていくのか。さらに森林セラピー事業の推進は。

**答** 松原の中心部は国有林で、整備等には国の理解と協力が不可欠と考える。またエリアゾーンの設定、下草等の管理には関係機関等と調整し、連携して取り組む必要があると考える。森林セラピー事業は市外からの誘客を図るには有効と考え、認定を受ける場合のハード・ソフトの整備を含めた条件等を研究していきたい。

#### その他の質問事項

- 地震の影響下での企業、工場誘致は
- 若者の定住化、雇用の確保
- 杉の間伐材利用に積極的な政策を